

東洋ステンレス化工株式会社

ステンレス溶接技術生かし

真空装置メーカーを目指す

海外発注可
納期相談
オンリー技術
試作可
小ロット



真空チャンバー溶接加工の様子

主な事業内容

ステンレス製品加工、
真空装置関連製品製作

主な取引先(納入先)

鉄鋼系商社、計装機器メーカー、
大学など研究機関

主な製品

フランジ、クランプなど配管資材、
配管(プレハブ加工)、真空チャンバー

業務内容

**タンカーやLNG船の
配管加工で溶接技術を磨く**

フランジや継手など、ステンレス製配管資材の製造からスタートし、現在は石油化学プラントや薬品、食品などの製造現場向けに自社工場で行った配管も供給する。昭和60年代からはタンカーやLNG(液化天然ガス)船などの配管加工や組立も手がける。LNGは極めて低い温度まで冷却して輸送する必要があり、配管は温度変化が激しいほか、波などの影響で長い船体にゆがみが生じて亀裂が入ったりしないように、高い強度や精度が求められる。中村隆社長は「ここでの仕事で溶接や加工技術が磨かれた」と振り返る。この強みを生かし、真空装置という新分野への挑戦が始まっている。

強み 真空チャンバーの 加工事業に進出

平成23年、直径1・4mの球形真空チャンバーを大手企業へ納入したことで、高い技術が必要とする複雑な真空チャンバーの製作依頼が次々に舞い込むようになった。球体の表面に開けられている配管用の穴にフランジを溶接で取り付けていくが、ステンレスは熱

による変形が大きく、サイズが大きくなればなるほど球体の精度を維持しながら溶接を施すのが難しくなる。製造現場では、機械加工や溶接のスタッフがミレーティングを重ね、最適な作業条件や手順を導き出し、完成にこぎつけたという。エネルギー、医療などの先端分野では、こうした真空技術が求められていることから、中村社長は「3年以内に、チャンバーだけでなく、真空装置を製造できるメーカーになる」と意気込む。

人材 育成 幹部が従業員の目標達成を サポートし個性を伸ばす

昭和45年にステンレス製品販売などの「東洋ステンレス(現・トーステ(株)(大阪市西区))」の子会社として設立され、令和2年には創業50周年の節目を迎える。中村社長は、入社前にテニスのコーチを務めたり、メンタルトレーニングの会社立ち上げに参画するなど、異色の経験を持つ。こうした経験を生かし、現在も人材育成に力を注いでいる。従業員には自分で目標を立てさせ、経営陣や幹部社員には彼らを目標達成へと導く伴走役に徹するよう指示する。中村社長は「目標にはそれぞれの個性が反映され、目標達成することで個性が伸ばされ、人として強くなれる」と話す。

社長あいさつ



代表取締役
中村 隆さん

新しいことへのチャレンジを怠らずに、次世代で活用される先端技術に積極的に取り組み、お客様の繁栄につながる新しい提案を提供していきます。この取組みを通じて、社員の個性を伸ばし、それぞれの人生を豊かにすることを目指してまいります。

主な保有設備

- 直流TIG(タンゲステン不活性ガス)溶接機 300A ダイヘン製他 8台
- 交流TIG溶接機 300A ダイヘン製 1台
- CNC(コンピューター数値制御)旋盤 LB12/15他 オークマ製他 6台
- CNC縦旋盤 2SP-V60 オークマ製 1台
- 縦型マシニングセンター(MC) MILLAC761V2他 オークマ製 2台

大阪
01

ISO 9001

住 所 / 〒596-0013
岸和田市
臨海町20-79
T E L / 072-423-9302
F A X / 072-423-9303
創 業 / 昭和45年8月
設 立 / 昭和45年8月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 17名



LPG(液化石油ガス)タンカーの配管を加工



真空チャンバー



<http://www.toyostainless-kako.co.jp/>